

私自身のリーダーになる
新しいライフスタイルづくりのリーダーになる
個人の時代の人生設計と生涯学習

～キャリアデザインという考え方～

2006年7月2日

岡山県生涯学習大学大学院コース

山陽学園大学公開講座

「ビジネスとキャリアデザイン」

法政大学キャリアデザイン学部長

笹川孝一

1. 「個人の時代」における人の存在状況と制度疲労との間での軋みとしての人格危機現象

(1) 深刻な人格危機現象

- * 自殺
- * 犯罪
- * ひきこもり、ニート、フリーター

(2) 自分を贅沢に活かしていきたい「個人」の誕生と不十分な個人のレディネス

- * 高度成長と契約主体、人生、ネットワーク・社会の主人公としての「個人」の誕生
- * 自分を多面的に活かしたい「贅沢」「欲張り」な「個人」の誕生と不可逆性
- * 可能性と現実的制約条件の中で揺れ動く「個人」の不安な心理的特徴と孤立化の問題
- * 契約主体、自然の一員、ネットワーク組織者としての意識、能力が不十分な「個人」の現状

(3) 権威主義、団体中心主義が強い組織の制度疲労、マネージメント、リテラシーのヴァーチャル化、断片化

- * ダイエー、コクド、JR西日本
- * 伝統的NGO、労組、協同組合の団体中心主義と新しいNPOの未成熟
- * 抽象的な金、点数、数字、ヴァーチャル世界の拡大と現実とリテラシーの乖離傾向

2. 新しいライフスタイルの模索とキャリアデザイン～自分探しは自分づくり、居場所づくり～

(1) 新しい人の生き方、ライフスタイルの探求

- * 難問解決ご近所の底力 / 当事者の課題共有と協力、交流、国境も越える
- * スローライフ指向とプロセスを重視するバランスのとれた生活
- * 不安を創造の原動力にする、チャレンジし、シェアする人生～宮崎アニメ J-pop、

家族でラップ

- (2) 「働くこと」「遊ぶこと」と「学ぶこと」～キャリアの複合性と私
- * 職業、地域ボランティア、家族・友人等の中で「働くこと」が基盤 多様な「人材」
 - * その中で生計を支えるに足る収入を伴うものが「職業」
 - * 自分の楽しみで行うことが「遊び」「楽人」
 - * 働くことと遊ぶこととの接点に「学びがある」
 - * 様々な関係性の中で「私」「私たち」が見え、作られる～「自分探し」の空回りの危険性
- (3) キャリアにおける縦のつながり～文化の型を覚え、「by chance」を活かす～
- * 時間の流れの中で作られるキャリア
 - * 文化の型を修得せずにキャリアデザインはあり得ない
 - * キャリアは「偶然」「by chance」を活かす経験の積み重ね

3. キャリアデザインと生涯学習

- (1) 憧れる人惚れる人をたくさんもつ～「キャリアモデル」をもつ～
- * 驚くこと、ドキッとするものの大切さ、心が動く、意欲が生まれる
 - * 憧れる人＝自分の努力目標にしたい人
 - * 惚れる人＝自分にはないものを持っているのでいつも一緒にいたい、応援したい人
- (2) 成功、失敗、立て直し体験を意識的に持ち、とらえ直す
- * 年齢、環境にふさわしい経験をたくさん積む コア・キャリアの形成、キャリアの展開
 - * 成功、失敗の経験から前向きな教訓を引き出す
 - * 立て直し経験、立て直し能力、危機に立ち向かい、チャレンジを楽しむ能力
- (3) 識字・リテラシーの再構築
- * 生活・仕事のリテラシーの循環を意識する
 - * スキルをしっかりと身につけ新しいスキルを開発する コトバ、技法、図式等を生み出す
 - * 「受験勉強」をワークフォース・リテラシー強化に活かす～リテラシーリテラシー「受験勉強」における「識字の四重苦」からの解放

4. キャリアデザインを支える環境整備

- (1) すべての組織を「学習型組織」に
- * 組織固有のミッションの明確化
 - * ミッション達成のための組織メンバーのキャリアサポート、学習サポート（複合的キャリア、多面的学習を含む）

- * サービス享受者によるミッション高次化への要望
- * サイクルの上昇 組織文化の質的向上
- (2) セクターを越えた協力関係の構築
 - * バラバラに行われがちなキャリアデザイン
 - * 共通点、政策課題等における交流、協力
 - * 法制度整備も含む
- (3) 個人の時代にふさわしい文化、産業、コミュニティ作り
 - * 具体的地域の個人のニーズから出発する
 - * 《学校、企業、地域、家庭》ではなく、《地域 = 学校 + 企業 + 自治体 + NPO + 自然》
 - * 課題毎の《地域》イメージ、地域作り、流水域地域、文化圏地域、必要があれば国境を越える

5 . 地方分権化・グローバル時代の「キャリア権・学習権」国際協力

- (1) 地方分権化の時代
 - * 徳川時代 300 の藩が近代化を経て一巡
 - * 税収の適正な配分を前提として独立採算、立法機能強化
 - * 連邦化 = 道州制の見通し、
- (2) グローバル時代と東アジア共同体
 - * 英米産業社会モデルの普遍化の功罪とグローバル化の不可逆性
 - * サブシステムとしての東アジア共同体と中華帝国解体過程に関する《歴史的振り返り》
 - * 様々なチャンネルでの人、文化、産業、金の交流の活発化をふまえた人材の育成とキャリアデザイン、生涯学習
- (3) 「キャリア権・学習権」国際協力
 - * 「キャリア権」という考え方
 - * 「学習権」という考え方
 - * キャリアデザイン・生涯学習、「キャリア権・学習権」を軸とした国際協力